

塩釜魚市場を訪ねて…

塩釜には2つの魚市場があります。漁船が入港し水揚げする塩釜魚市場と水揚げされた魚などを一般に販売する塩釜水産物仲卸市場です。東日本大震災では水揚げの魚市場に津波が押し寄せ、岸壁も地盤沈下しましたが他の漁港より被害が軽微だったのでいち早く水揚げを再開しました。今は傷んだ建物の解体が進み新魚市場の再建を目指しています。

一方、仲卸市場の方は、幸い津波の被害がほとんど無く建物も震災前に、耐震工事を済ませていたとの事でこちらもいち早く小売りを開始しました。そこで今回の訪問は塩釜で一番活気ある塩釜水産物仲卸市場を訪ねました。

印刷屋さん訪問体験
今回はこれ！
塩釜仲卸市場で
海鮮丼作り

全部食べつくすぞー



仲卸市場内で集めた食材

塩竈といえば
生マグロ水揚げ
日本一!!

オリジナル海鮮丼の作り方

塩釜仲卸市場にてオリジナル海鮮丼を作るには、まず、市場内の魚屋さんを回って好みの新鮮な食材を見て選びます。（その際に一人で選ぶより何人かで選んだほうが予算的にいいかも!!）食材が揃ったら、市場内の指定されたテーブルの所へ行き『ごはん・みそ汁セット（¥300）』が届いたら食材（新鮮な魚介類）をキレイに盛り付け好きなだけオリジナル海鮮丼を作って存分に楽しんで下さい。決して裏切りません。間違いなく美味しい！魚やさんを見て選ぶ楽しさもあります。是非体験して、ご賞味下さい。

*『ごはん・みそ汁セット（¥300）』は仲卸市場に予約を申し込むとテーブル席も確保してくれるので事前に申し込んでいた方がいいですよ！



MUD (ユニバーサルデザイン) って知っていますか?



図1

世の中には、老若男女様々な人がいます。色が見づらい色盲の人、全盲の人など目に限らず様々なハンディを持った人にも扱いやすいデザイン、それがユニバーサルデザインです。

人の目には、赤、青、緑の色を見分ける細胞がありますが、病気などでそれらの色を見分けられない人がいます。その人たちの目には図1のように見えています。

また、年を重ねると誰もがそのリスクをおう白内障の人には図2のように見えています。

それら人たちが扱いやすいようにと作られたのが図3 地下鉄の地図です。色分けはもちろんですが、右下にそれぞれの色を文字で表示し、ハンディのある人達に対してもわかりやすい作りになっています。

弊社でもユニバーサルデザインのフォントを採用し制作に取り組んでいます。高齢化が進む現代社会では印刷だけではなく、身近な建物や乗り物でもユニバーサルデザイン化が進んでいます。これまで以上に過ごしやすい未来が近づいているのではないのでしょうか？

図2 白内障患者の見え方

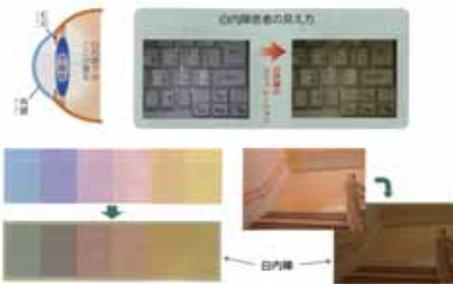


図3 白内障患者の方にも優しい地下鉄の地図



身近になってきたAR

現実空間にデジタル情報を重ねる

「新しい情報ツール」以前にも紹介させて頂いたAR。

覚えていますでしょうか？

最近は大手メーカーが幅広く活用し知名度が上がってきています。

皆さんは見たことはありますか？

いろいろな物があり面白いですよ！！

ARに関するアプリケーションはたくさんありますが、

その中でも多くのかたが活用しているものを紹介させていただきます。

ARの利用手順

アプリダウンロード

App Store・Google Playより

「mue Alive!」(無料)をダウンロードします

アプリ起動



ターゲットにかざす



画像や広告にかざす

さあ、
ためしてみよう！



新聞や雑誌の広告、
パッケージが動き出します

※掲載のデモ画面は
期間限定となっているため
うごかない場合があります



塩竈浦戸のりフェスティバル



5月26日、塩釜市浦戸桂島観光棧橋前広場にて、浦戸のりフェスティバルが開催されました。

このフェスティバルは東日本大震災によって被害が大きかった浦戸諸島桂島の人々の復興の思いを込めて開催されたフェスティバルで、今年で2回目ということで、今年はずっと足を運んでみました。

塩釜市営汽船に乗り、約30分ほど、たくさんのカモメたちにエサをやりながら、本当に震災が起きたのだろうか…とってしまうほど、きれいでおだやかな海を渡り、いざ桂島へ。

現地に着くと、にぎやかな人、人、人！たくさんの人達がのりフェスを楽しんでいました。地元でとれた海苔を使った、浦戸でしか味わえない料理がたくさんありました。麺に海苔を練り込んだという焼きそばや、のりのり丼！とても美味しかったです。塩釜市内のいくつもの店舗が出店していて、どこもみな行列で食を楽しみ、ステージでは、GEN KIDSや、松島高等学校ダンス部のダンスなどがあり、本当にノリノリで楽しいフェスティバルでした。

後日、子どものお友達のお母様とのりフェスの話になった時、実家が桂島の方だったので、楽しかったことを伝えると、実家の方たちは今も仮設住まいとのこと、震災前は夏になると海水浴のお客様でいっぱいになり賑やかだったことなど、あの震災で一変してしまったことを話してくれました。でも、最後に「のりフェスに行ってくれてありがとう！またぜひ遊びに行ってくださいね。」と言われたことが胸に響いた一日となりました。

来年また開催されるなら、またぜひ行ってみたいと思います。

みなさんもぜひ！



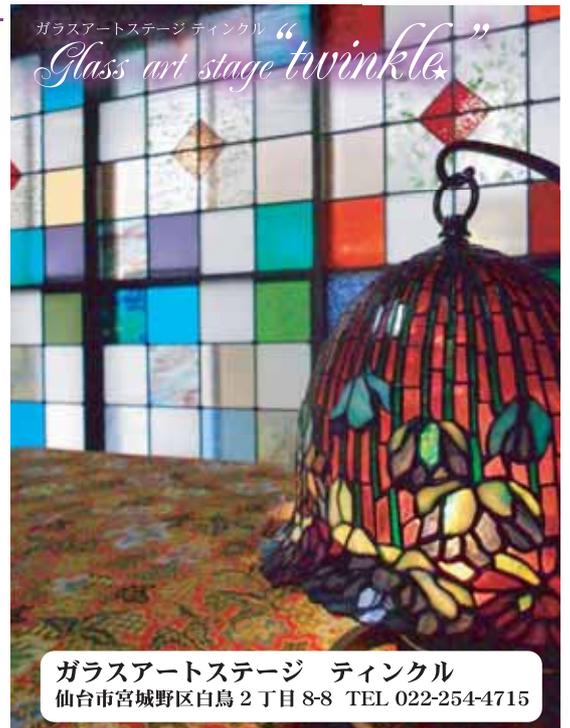
日比野克彦氏の種船

ガラスアートステージティンクルさんの 展示会・1コイン体験に行ってきました

弊社のお客様のスタンドグラス工芸のガラスアートステージティンクルさんの展示会が先月、塩釜市内で開催されました。

常々スタンドグラスの美しさに興味を抱いていた私は印刷屋さんメンバーと一緒に1コイン・三二ミラー作製体験をしてきました！

鏡1枚・ガラス2枚でどのようなものが出来上がるか心配しましたが、先生のご指導も大変親切丁寧でしたので30分くらいで下記のようなすてきなミラーが出来上がりました。



ガラスアートステージ ティンクル
仙台市宮城野区白鳥2丁目8-8 TEL 022-254-4715

夏バテしていませんかあ～

《夏を乗り切るパワーの源、夏野菜を紹介》

不足しがちなビタミンを補給

トマト、ニガウリ、ピーマン、カボチャ

暑さに対する抵抗力をつけるビタミンC。糖質や脂質をエネルギーに変えるビタミンB1。カロテンやビタミンEには、老化防止や抗酸化作用がある。ビタミン類が豊富な夏野菜はコレ！

夏バテ防止のムチンが豊富 オクラ、モロヘイヤ

ヌルヌル、ネバネバした夏野菜は夏バテ防止に効く。粘り



の主成分である「ムチン」は、胃の粘膜を保護したりたんぱく質の消化吸収を助けるほか、疲労回復や肌の老化防止など、さまざまな作用がある。

水分補給の強い味方 キュウリ、ナス

夏の水分不足は、脱水症状や熱中症の原因になる。水分をたっぷり含んでおいしい夏野菜は、水分補給にぴったり。冷たいドリンクをがぶ飲みするより、野菜を食べよう。



印刷屋さんの仲間 第3弾!!

今回は「子どもの頃の思い出」です

Part.3



実家を放れ、両親も亡くなり、こどもの頃の思い出も遠い昔となり、写真を探すのも一苦勞でした。この写真は私が3~4歳頃の写真だと思います。こどもの頃の思い出といえば私が小学生の頃は今のようなゲーム機もなく、学校から帰ると近所の仲間（上級生から下級生まで地域の縦社会があった）と日が暮れるまで外遊びをした思い出があった。かくれんぼ、缶蹴り、ろくもんす（軟式庭球での三角ベース野球）など自分たちで考え工夫して、様々な遊びをしていたと思う。野山を駆けずり廻り、基地を造り、木の実を採ったり、日が暮れるのも忘れて沼で鮒つりやザリガニとりをしているうちに帰りが遅くなり、父親にこっぴどく叱られ、大きな栗の木に縛られ反省させられた記憶は今も鮮明に覚えています。

営業課 若生 保美

この世に生を受けて50数年、私の今までの人生の半分は工陽社にお世話になっていると言っても過言ではないかもしれません。こんなに長く勤めることが出来るとは、私自身思ってもいませんでした。

若かりし頃（子供頃）の写真を探したのですが、なかなか見つけれず、ようやく、約30年前の会社に入社して10年ぐらいの懐かしい写真を見つけて、そのまま写真を眺めながら、あの頃は、みんな若く、懐かしい顔、顔を見ながら、あの人は誰で、この人は誰とか。ほんとに懐かしいなと思えました。

また、学校を卒業して約20年目に初めてのクラス会があり、又、10年後にみんなと顔を合わせて、今度は★★の前に逢おう言うことでしたが、私自身都合が出来なくて参加出来なかったのが心残りでした。（学生時代は勉強があまり好きではなく、遊んでばかりいたのを思い出します。そしてあまり目立たなかった子供だった?）。

工務課制作 千葉 典子



工陽社社員旅行



クラス会にて



自分が生まれ育った所は泉ヶ岳のふもとの根白石です。子どもの頃の思い出というと、農家だったので家の手伝いをしたり、親父と近くの川に行っとうなぎ取りをしていました。また、冬には親父が裏山に行っ竹を切ってきて、竹スキーを作ってくれ、友だちと良く遊んだものです。

小学2年に多賀城に引っ越してからは仙台新港（昔の蒲生）に釣りに行きました。写真は小学校の卒業写真です。

工務課 製造 永沢 和明

編集後記

市内にありながら意外と行ったことが無かった仲卸市場。市場はお寿司屋さん、料理店・仕出し屋さん、魚屋さん等プロから私たち一般市民まで誰でも自由に買い物ができるスポット。そこで大好評なのが活きのいい好きな具材で楽しむマイ海鮮丼。魚屋さん値切りの交渉をして楽しんでみては。



生れも育ちも塩釜の私ですが、今回、生まれて初めて仲卸市場に行っ参りました。新鮮なマグロやいくら、エビ、ホタテと大好きな物がたくさんで美味しく興奮の取材となりました。取材というより食べることに夢中でした（笑）娘も同行させていただきましたが、いくらが大・大・大好きなので大変喜んでペロリと食べてしまいました。スーパーではなかなか美味しいお魚に巡りあえないので、また個人でも行ってみたいと思いました。



人生初の魚市場！いきなりマグロが解体されてたり、海の匂いがぶんぶんして内陸育ちには驚きの連続でした。そしてウニがあんなに美味しいとは…！



まだ、梅雨はあけませんかねえ～？魚市場は朝早く行くのがお勧めです！高いですが、ここは奮発して本マグロがお勧めです！マグロ最高！とってもおいしい～塩釜に住んでいてよかった～と思う瞬間です。



まいどー！！お魚さんは何処ですか～？？はい私の胃の中です！！食べていませんよ！！胃の中で飼育中です。いつものくぐらない前置きは置いて、やっば新鮮な魚介は最高！！おいしい！！でもそれ以上に気になった、ばくらいとホヤの塩辛。ビールのおともにはもってこいです！！次に行くときは車おいて行くことに決めた今日この頃でした。



初めての海鮮丼作りを体験！仲卸市場を回って素材を集めて好みの丼に！！みんなで新鮮な魚介類を選びそれを一つの丼に、いや～最高の一品でした。今度はもう少し贅沢な一品を作りに行きたいと思えます。本当に美味しかった。



うにを食べるならガゼに限りです！本まぐろ最高!! 久々に心躍りました!!



今回の仲卸市場の取材には同行出来ずとても残念な思いをしています。と言うのは、取材スタッフ全員が異口同音に「新鮮で美味しかった!!」「楽しめたし、また行きたいと思いました!!」「まぐろ最高!!」と話していたからです。私も同じ思いをしたかったなー(本音です)

それにしても、身近にある観光スポットは観光客だけのものではなく、地元で暮らす人達の憩いの場にも成るのだなと今更ながら強く感じました。

私もこれからどしどし利用してみようと思えます。

食べる事が大好きだし……食い意地が張り過ぎですかね。



ヒゲズ